

■コメント

第52週は、定点医療機関が年末年始休診のため、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

- ・インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、RSウイルス感染症は、多い状態が続いていると考えられます。
- ・インフルエンザは、学校が冬休みに入ったため報告数は少なくなっていますが、これまでの過去の例を見ると、学校が始まると流行が拡大しており、1～2週間のうちにも注意報レベル(定点当り10.0人)を超えると予測されます。
- ・感染性胃腸炎の集団発生が1件(ノロウイルス)報告されています。

寒い日が続いていますので、健康管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行など感染症予防に心がけてください。

感染症情報等の詳細は以下のホームページ(広島市感染症情報センター)を参照してください。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

■定点把握感染症状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平過 均去 (注 5年 間)	発 生 記 号	疾患名	報告数	定点当り	平過 均去 (注 5年 間)	発 生 記 号
インフルエンザ	257	6.95	5.27		ヘルパンギーナ	-	-	0.03	
咽頭結膜熱	8	0.33	0.22		流行性耳下腺炎	3	0.13	0.45	
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	32	1.33	1.16		RSウイルス 感染症	41	1.71	1.70	
感染性胃腸炎	138	5.75	14.00		急性出血性 結膜炎	-	-	0.03	
水痘	42	1.75	2.51		流行性角結膜炎	-	-	0.28	
手足口病	6	0.25	0.14		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	8	0.33	0.19		無菌性髄膜炎	-	-	-	
突発性発しん	3	0.13	0.58		マイコプラズマ 肺炎	11	1.57	0.29	
百日咳	1	0.04	0.15		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-	

急増減			前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減			前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減			前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	251	女性(10歳代)・1人、女性(30歳代)・1人、女性(60歳代)・2人、男性(70歳代)・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	57	4	28	160	53	3	10	6	7	1	6	38	1	8	-	-	6	-
	第48週	145	5	43	167	49	12	11	10	5	-	6	30	-	7	-	-	11	-
	第49週	239	4	54	183	58	6	16	14	10	-	5	47	-	4	-	-	8	-
	第50週	332	2	26	214	62	1	3	8	2	-	3	51	-	-	-	-	7	1
	第51週	257	8	32	138	42	6	8	3	1	-	3	41	-	-	-	-	11	-
定点当り	広島市	1.54	0.17	1.17	6.67	2.21	0.13	0.42	0.25	0.29	0.04	0.25	1.58	0.14	1.14	-	-	0.86	-
	第48週	3.92	0.21	1.79	6.96	2.04	0.50	0.46	0.42	0.21	-	0.25	1.25	-	0.88	-	-	1.57	-
	第49週	6.46	0.17	2.25	7.63	2.42	0.25	0.67	0.58	0.42	-	0.21	1.96	-	0.50	-	-	1.14	-
	第50週	8.97	0.08	1.08	8.92	2.58	0.04	0.13	0.33	0.08	-	0.13	2.13	-	-	-	-	1.00	0.14
	第51週	6.95	0.33	1.33	5.75	1.75	0.25	0.33	0.13	0.04	-	0.13	1.71	-	-	-	-	1.57	-
全国	第50週	1.98	0.50	2.53	11.66	2.70	0.72	0.28	0.56	0.03	0.05	0.78	1.18	0.03	0.67	0.03	0.05	1.30	0.03
	第51週	3.34	0.46	2.26	12.76	2.64	0.58	0.23	0.52	0.03	0.04	0.71	1.17	0.03	0.58	0.04	0.02	1.19	0.05

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱(38.2) 気管支炎 肺炎 胃腸炎 下痢 中耳炎	1	女	2011/11/24	咽頭拭い液	ライノウイルス
					咽頭拭い液 鼻汁(拭い液)	RSウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

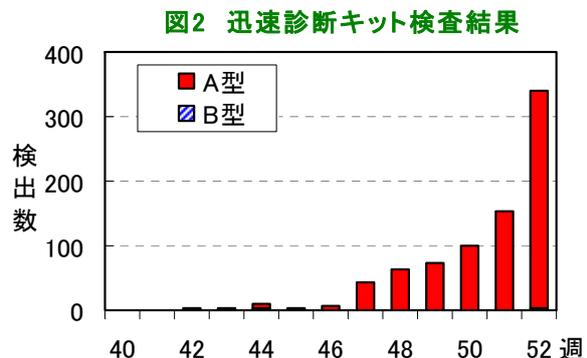
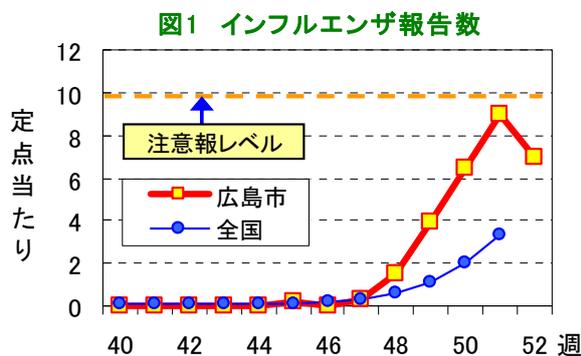
【参考】広島市におけるインフルエンザ報告数及び迅速診断キット検出数

インフルエンザの定点医療機関からの報告は、増加傾向で推移していましたが、年末から年始にかけての第52週は、医療機関の休診が多かったため、例年と同様に報告数は減少しました(図1)。

しかし、基幹病院(2か所)における迅速診断キットによるインフルエンザウイルス検出数は、第52週は非常に多くなっています。これは、この期間も診療を行っていたため、患者が集中したと考えられます(図2)。

なお、第52週のインフルエンザ迅速診断キットによる検出数の型別内訳は、A型が335人、B型が5人と、ほとんどがA型となっています。

また、広島市衛生研究所による検査結果では、今シーズン(9月以降)は、インフルエンザウイルスA香港(AH3)型のみ検出されています。



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2011年第52週(12月26日~1月1日)